

# 3学年通信



## 進路説明会がありました。

6月22日（月）に進路説明会がありました。公立高校の入試の方法（選抜Ⅰ、選抜Ⅱ、選抜Ⅲ）、私立高校の入試の方法、（推薦入試、一般入試、専願制度等）入試の方法には様々な形があり、一度に理解するのは難しかったかもしれません。進路についての学習はこれからもたくさんありますからしっかりと学習していきましょう。不安な点があれば、積極的に先生に質問をすることも大切なことです。疑問点を一つずつ解決していきましょう。

進路説明会の時に話があった、推薦・専願に関する基準について再掲しておきます。今回この説明があったということは、これから先生方は推薦・専願の基準に皆さんが合っているかどうかという視点で皆さんの生活を見、指導をするということも多くなってきます。「自分は海田中学校に推薦されるにふさわしいかどうか」ということを意識しながら毎日の活動をしていくことも大切です。自分の進路実現に向けてしっかりと頑張っていきましょう。

### 令和2年度 推薦・専願に関する基準

海田町立海田中学校

本校の推薦に関する基準は、次の観点における生徒自身の努力、成長の過程を踏まえて総合的に判断する。また、専願に関しても、推薦の基準に準じて行う。最終的な決定は校長が行う。

- 1 志望する理由が明確である。
  - (1) 自己の将来への展望を持っている生徒。
  - (2) 志望する理由を明確に説明することができる生徒。
- 2 学校生活に意欲的に取り組むことができる。
  - (1) 学習や部活動への取組を通して、自分の力を伸ばそうと取り組むことができる生徒。
  - (2) ボランティア活動に意欲的に取り組むことができる生徒。
  - (3) 学校生活で与えられた役割（係・委員会活動等）に責任を持って取り組むことができる生徒。
- 3 基本的な生活習慣を身につけ、ルールを守って生活することができる。
  - (1) 学校や社会のルール、公共のマナーを守ることができる生徒。
  - (2) 服装や身だしなみを整えることができる生徒。
  - (3) 時間を守ることができる生徒。
  - (4) 失敗をした時には、素直に反省し、自分を改善しようと取り組むことができる生徒。
- 4 志望校が示す基準・資格を満たしている。

# 7月の行事予定

7月8日(水)	生徒委員会
7月9日(木)	検尿2回目…該当者のみ 生徒総会
7月10日(金)	英検1BA
7月13日(月)	試験1週間前部活停止(22日朝まで)
7月15日(水)	生徒朝会(放送予定)
7月20日(月)	
～	期末試験
7月22日(水)	

※各高校から、続々とオープンスクールの案内が届いています。教室掲示や2階廊下の掲示をよく見て、積極的にオープンスクールに参加しましょう。注意点は、申し込みをしたら特別な理由がない限り必ず参加することです。この点に注意して申し込みをしてください。

次の文章は、1999年2月20日付のスウェーデンの新聞に掲載された12歳の少年の投稿記事です。

◎若者は、もっとデモクラシーについて学習しよう。

僕は、12歳です。「青少年の民主主義に対する意識は、年々希薄化しつつある」という新聞記事を読みました。僕たち青少年はデモクラシーについて、もっと勉強するべきだと思います。“デモクラシーとは何か?”について理解できなければ自分たちの権利についても理解できないと考えるからです。

誰かがやってきて、いろんなことをしゃべりたて、「それがあなたの権利であり、あなたはそれに従わなければならない。」といったとします。自分の本当の権利を知らないものは、多分何の疑問も抱かずに「OK」といってしまうでしょう。

今、世界の国々の三分の一は独裁国ですが、僕たちは、幸いにもデモクラシーの国に住んでいるのですから、何が間違っていることなのかについてもっと知るべきです。僕のいいたいことはそれだけです。

アイナー・T・ヨンソン

すごいよね。12歳といえば小学生です。小学生が民主主義と権利について考え新聞に投稿する。君たちだったらどうですか?

民主主義というのは、すべての人間の権利を(人権といいますね)守るために考え出された政治のしくみです。重要なのは「すべての人間」というところなのです。お互いの人権を尊重する社会の基本的ルールのひとつは、社会のメンバーそれぞれが「自分の権利を主張する」ことと同時に「他者の権利を保障する」ための社会的責任を負っているということです。

自分が人に話を聞いてもらいたければ、自分も人の話を聞かねばなりません。

清潔で快適な環境で生活をしたいと思うなら、まず自分が進んで清掃をしたり、ごみを拾わねばなりません。「人に大切にされたい」と思うことは誰にとっても当然の願いですが、そのためには自分が人を大切にしなければいけません。それが社会的責任です。

民主主義で大事にされている自由というのは、けっして「勝手気ままに」何をやってもよいという自由ではないのですね。

社会科の授業でも、権利と責任という学習をします。3年生の君たちだったらきっと理解をしてくれると思います。自分のわがままを通そうとするのではなく、みんなの幸せを考えて自分の意見を言える。そしてその意見が全員に尊重される。そんな学年をつくらなければなりません。さて、今の君たちはどうだろう。権利と責任を考えた行動がどの程度できているだろうか。しっかり振り返ってみましょう。

